

親子の リレーションシップ ほくりく 2016 inふくい

おたがいの声に耳をかたむけて
～みんながみんな、主役なんだぜ～

- 日時:10月22日(土)10:00～17:00
- 場所:福井県立大学 共通講義棟
- 参加費:大人1,000円/大学生以下無料

北陸三県の子どもに関わる団体が連携し交流し、親子のリレーションシップについて学ぶイベント。各団体のパネルディスカッションや、活動紹介でコミュニケーションを深めます。『子どもをつくるハロウィン』『いじめ・虐待』『子育ての悩み』についても話し合います。
お問い合わせ先・事務局/森 透
TEL.090-8265-7228



「仏像×ダンス」 パフォーマンス

仏像のポーズ、まねしてみたら、どんな気持ちになるかしら?おどきながら仏さまに近づこう!

福井出身のダンサー・藤田 善宏さん(「コンドルズ」メンバー)を講師に迎え、ダンスで仏像を表現しながら福井駅前をパレードします!

- 日時:10月23日(日)14:00より
- 場所:ガレリア元町ハビタス

※ワークショップ参加者募集!詳しくはWEBで



写真は「神楽坂deあっぱれ～」の様子

レンタルします!



「スマートボール」「カウボーイ輪投げ」「ストラックアウト」「空き缶つりぼり」

など手作りあそび用品を多数とりそろえています。子ども会のイベントや地域のお祭りに使ってみませんか。レンタルの予約は福井県子どもNPOセンターにお早めどうぞ!

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。

- 個人 一口年額 / 5,000円
- 団体(法人) 一口年額 / 10,000円

B. ボランティア会員

子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。

- 個人 一口年額 / 1,000円

C. 一般寄付も受け付けています。

入会方法

郵便振替の通信欄に、

- ①住所 ②氏名 ③電話番号
- ④会員の種類(左記ABCいづれか)
- ⑤口数 を記入してお振込みください。

郵便振替

00770-1-45546
福井県子どもNPOセンター

◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄附や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置(寄附金控除)が受けられます。ぜひご利用ください。

①個人のご寄附

【所得税】(寄附金の合計額 - 2,000円) × 40% が税額控除されます。【上限: 所得税額の 25%】

【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。

【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません。

②法人のご寄附(法人税)

認定特定非営利活動法人への寄附金の特別損金算入限度額が改正されました。(2012/4/1)
{(資本金 × (当期の月数 ÷ 12) × 0.375%) + (所得の金額 × 6.25%)}

※詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせ下さい。また、国税庁のウェブサイト(国税庁>申告・納税手続>認定NPO法人制度)でも手続きの詳細が掲載されています。

団体正会員

- 鯖江子ども劇場 | 〒916-0024 鯖江市長泉寺町1-9-20 鯖江市民活動交流センター内
- 小浜子ども劇場 | 〒917-0231 小浜市国分50-9 TEL.0770-56-2867
- 勝山子ども劇場 | 〒911-0811 勝山市片瀬町1-402 勝山市民活動センター内 TEL.0779-87-1011 FAX.0779-87-1022
- NPO法人 福井芸術文化フォーラム | 〒910-0019 福井市春山2-7-1 (福井市文化会館内) TEL.0776-23-6905 FAX.0776-23-7905

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

- 有限会社アドヴァンス近信
- 大久保リースホームビル株式会社
- 太田木材株式会社
- 大月産婦人科クリニック
- 片山整形外科
- 上屋敷工業株式会社
- 医療法人矯正歯科誠クリニック
- 学校法人 福井仁愛学園
- スクエアパーク
- 造家屋
- つちだ小児科
- ネットヨタ福井株式会社
- バレーンギフト館
- 光タクシー有限会社
- 広瀬病院
- 福井県映画センター
- まぎレディースクリニック
- ミエリ デザイン
- 三井皮膚科医院
- 山内整形外科
- 有限会社山下燃料
- りつこ山野流着装教室
- 六感デザイン

子どもNPOセンターのロゴができました。

記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター

〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号

TEL.0776-97-8460 FAX.0776-97-8461

E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp

URL http://childnpo.com

Facebook 始めました

企画・編集 / 福井県子どもNPOセンター デザイン / 六感デザイン



Salt & Pepper ソルト&ペッパー

2歳半の長女は、現在、お人形遊びに夢中。部屋中のぬいぐるみをお布団に並べては、「みんな、おねえんの時間よ～」あらあら、うちしたのはだれかしら～?」と甲斐甲斐しくお世話を焼く毎日です。この調子で、まもなく産まれる弟のことも可愛がってくれるといいのですが…さて、どうなることやら?? (餅)



Take Free [無料]

こども Channel

チャンネル

発行: 認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター URL: http://childnpo.com



特集 子どものチ・カラ9

『マスクが外れるときまで』

私は今、夜の定時制高校で仕事をしている。県内では一番小さな高校だ。毎年10人程度が入学してくる。今年の全校生徒数は35人。しかし、その35人のいずれも、いろいろ複雑な事情を抱えて学校へ来ている。半数近くの生徒は不登校経験者である。彼らが入学したとき、ほとんど皆マスク姿だった。もちろん、花粉症とか風邪などではない。周囲を警戒し、自分を守るのに精一杯の子どもなんだと、彼らのマスクは物語っていた。

——この学校の先生たちは、大人たちは、果たして信じていいのかな。一緒にここへやってきた他の連中は、果たしてどこまでつきあえるのかな。心を開いた分、傷つくことはないのかと、思春期の彼らは戦々恐々として定時

制へやってくる。どの生徒もみな、他者への不信感と、自己への否定感にもみくちゃにされた子ども時代を背負っている。だから、そうやすやすとは打ち解けない。それでも、もしかしたらそんな自分でも変わるかもしれない、というかなる希望も心の奥底に秘めていることを私たち教師は感じている。しばらくは、駆け引きが続く。そんな彼らのマスクが一人二人と、夏に近づくにつれ外れてくる。この学校に、居場所ができてくるからである。自分はここにいてもいいんだと思える…それは人間関係ができてくるということだ。関係が安定してこそ、人は学びを深めていけるようになる。ところが、関係ができればまたその

分、トラブルも起きてくる。トラブルもまた人を成長させる。小さな学校ならではの、あたたかい雰囲気や滋養になる。解決を急がずに、人をまず理解することを大事にしていく。やがて、入学当初にマスクをしていた生徒の殆どは、秋の半ばにはもうすっかり、ありのままの顔で登校している。もちろん、いまだにマスクを外せない生徒もいる。2年目になって、ようやく外した生徒もいる。卒業するまでに外せるようになったらいい、そう思いながら私たちは見守っている。マスクをとれ、と無理矢理外させるのは簡単だが、その心にはマスクがかけられたままである。生徒が自分からマスクを外してみよう、大丈夫かも、という気持ちにするのは簡単ではない。家庭ですら心にマスクをしている子どももたくさんいるだろう。

実は、マスクは子どもが自分を守ろうとする力のあらわれでもある。それを自分から外すとき、子どもの中に、自分をさらす勇気が目覚めていると知れるのである。自分を守る力が今度は、この世界で生き抜いていく力へと育っていくのだ。私たちの仕事は、そんな子どものチカラを見誤ることなく、日々見つめ続けることだと思っている。

〔鯖江高校定時制教頭 向井 清和〕



子どもゆめ基金
助成事業

あべこべ学校



子ども先生・大人生徒
大募集中!!

子どもが先生?! 大人が生徒?! 「あべこべ学校」始まるよ!

「あべこべ学校」は子どもが先生、大人が生徒とお互いの立場を入れ替える、逆発想でユニークな活動です。子どもたちは先生になることで話を伝える難しさに気づき、自分の言葉を大人が聞くという心地よさも体験します。生徒となった大人は、今の子どもを知るきっかけになり自分も子どもだった頃を思い出します。そして子どもの豊かな発想に驚くことでしょう。子どもと大人が相互に理解する一歩となる「あべこべ学校」にぜひご期待ください。

■メインファシリテーター／島田 貴和子氏

子ども先生	■参加費／無料 ■対象／小学生20人(応募多数の場合は抽選) ※すべての日程に参加してください。 ※グループで授業をします。
大人生徒	■対象：子どもと一緒に笑える大人 30人 ■授業料：1,000円(給食費込) ■日程：12月10日(土)9:00～15:00 ■会 場：福井県社会福祉センター
子ども先生、大人生徒のお申込みは事務局まで	

うめだ演劇工房 演劇キッズ2016

子どもゆめ基金助成事業



7月2日、県内から集まった小学生による演劇キッズの第1回日の稽古がスタートしました。これから発表に向けて9か月間、みんなでコミュニケーションしながら、想像するチカラで劇の場面をひとつずつ丁寧に作り上げていきます。3月5日の響のホールのステージをお楽しみに!

■参加：小学校高学年22名 ■講師：梅田 美千代氏、鷺田 静佳氏

「家族のうた」 講師／梅田 美千代氏

22名のキッズは7月8日と、表現あそびや発声などの基礎練習をしました。9月には台本「家族のうた」が配られ、初めての読み合わせでも個性とヤル気を発揮しています。台本に出てくるキッズと同年代の小学生の、楽しい気持ちや悲しい気持ち、みんなと一緒に悩む気持ちを理解し、台本の中で小学生たちが真剣に考えているように、キッズも自分の大切な「家族」について考える事ができたら、もう劇づくりは成功と言っているでしょう。キラリと光る新鮮な感性を見せるキッズと一緒に、劇「家族のうた」を作ることが、楽しみで仕方ありません。

ふくいっくらんキッズ2016

子どもゆめ基金助成事業

ふくいっくらんキッズ2016を開催します。小学生対象のフリーマーケット「ボクたちのお店」中高生対象の「パフォーマンスらび」などの企画で、子どもたちが福井のまちと人をつなげます。お互いの知恵とアイデアを出し合って子どもが自分の思いを達成していく様子は、このフェスタのみどころです。大人世代にたのしく元気な「これから」を感じさせてくれます。

■とき：10月23日(日)10:30～15:00
■会場：ハピリン ハピテラス



大道芸人チカラハンの公演もあるよ!

福井県まごころ基金助成事業

大人が学びあう講座

虐待防止活動

～知ってほしい現状と課題～

昨年度私たちは「子どもの貧困」について学び、日本には相対的貧困があることを知りました。お金がない、生活が苦しい、というのは過去の虐待事件でもよく目にする言葉です。今年は貧困と密接につながっていると思われる「虐待」をテーマに取り上げます。

私たちは、これまでに何度か虐待についての講演会や研修を開催してきました。2010年の大阪ミナミ2児餓死事件は虐待関係の法律や人的配置が大きく見直される契機にもなった痛ましい事件でしたが、ちょうどこの直後に情緒障害児短期治療施設のルポ番組を制作したNHKディレクターの講演会を開催しました。それまでになく多くの参加者があり、衝撃的な事件に社会的関心の高まりを感じました。

そして今、家族を保護・サポートするプログラムが整備されましたが虐待の被害は後を絶ちません。何故なのか? また私たちにできることは何か? 実際に現場を知っていらっしゃる方のお話を伺って考えていきたいと思います。(齋藤 万世)



第1回講演会

■講 師：新井 康祥氏
(あいち小児保健医療総合センター 心療科)
■と き：11月13日(日)14:00～16:00
■会 場：福井県立大学交流センター 多目的ホール
■参加費：1000円

第2回講演会

■講 師：浜崎 裕太氏(児童養護施設—陽 療育支援室長)
■と き：12月3日(土)14:00～16:00
■会 場：福井県立大学企業交流室
■参加費：1000円

※上映会「わたし生きていていいのかな」の共催団体も募集しています。

ふくいチャイルドライン

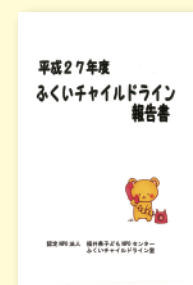
報告

ふくいチャイルドラインでは1年の活動を報告書にしています。1年間の電話のデータを分析したもの、受け手の研修などが掲載されています。報告書は今の子どもの実態を知ることでもできます。事務局にありますのでお問い合わせください。

ふくいチャイルドラインは福井・奥越の2か所で開設しています。電話を受けるのは一般のボランティアで「受け手ボランティア養成講座」を受講してから活動に入ります。今年度は初めて奥越で養成講座を開き新たな仲間を迎えることができました。来年3月には福井市でも開催しますので関心がある方はセンターまでお問い合わせください。(谷内 由美子)



18才までの子ども専用電話
月曜日～土曜日 16:00～21:00
☎ 0120-99-7777



第1回 自然を楽しむ 指導員研修

森林・山村多面的機能発揮対策交付金



■と き：7月6日(水) 9時半～12時
■と ころ：ふくい健康の森
■講 師：大石橋 節子氏 ■参加：12名
放課後児童クラブの指導員を対象に自然体験研修を行いました。自然の中で感じる不思議や楽しさは柔軟な感覚をもつ子どものころから体験させたいと思います。放課後、子どもたちと過ごす指導員が自然遊びの楽しさを思い出し、日々子どもたちに関わって欲しいと思います。

「Yummy あそび横丁」大賑わい!

JA福井市誕生20周年記念事業
く食と農の夏まつり2016



■と き：7月23日(土)・24日(日) 9時～17時
■と ころ：福井県産業会館
JA福井市より「子どものあそび広場」を委託されました。空き缶つりばり、血回し、工作などのコーナーに多くの親子が遊びに来ました。そばで見ていた大人もいつの間にか参加して、子どもも大人も笑顔が途切れることがありませんでした。



子どもと文化企画事業

児童クラブふれあい事業



人形劇「ピンクのドラゴン」

■と き：7月26日(火)10時、13時半
7月27日(水)10時
■と ころ：福井市文化会館
■共 催：福井市児童クラブ連絡協議会
30クラブの児童が「ピンクのドラゴン」を鑑賞しました。空想の世界は子どもたちの感性をくすぐり、とてもよい機会になったようです。

空とぶじゅうたん主催のイベント情報をいち早くGET!

『空とぶじゅうたん通信』
配信中!!

福井県子どもNPOセンターのメールアドレス
childnpo@muse.ocn.ne.jp
または右上のQRコードから、
「空たんメール希望」と送信ください。
※件名に「空たんメール希望」、本文に「お名前」をお忘れなく。

